

(公社) 日本口腔外科学会 各位

国立がん研究センター中央病院
放射線治療科 井垣 浩 櫻町 円香
歯科 上野 尚雄 八岡 和歌子

頭頸部がん放射線治療後の「放射線性顎骨壊死」に関する実態調査
アンケートのご回答のお願い

拝啓

貴施設におかれましては、ますますご清栄のことと心よりお慶び申し上げます。

この度は(公社)日本口腔外科学会のお力添えを頂き、頭頸部がん放射線治療後の「放射線性顎骨壊死」に関する実態調査のアンケートにご協力を賜りたく、失礼とは存じますが書面でのお願いを申し上げます。

頭頸部がん診療において放射線治療は重要な治療モダリティでございますが、重篤な口腔晩期障害として放射線性顎骨壊死の問題があります。その抜本的な治療法は外科的治療になると考えられますが、しかしながら状況によっては外科的治療を選択せず(あるいは出来ず)、保存的な治療で症状緩和・病勢の抑制を行い、経過をみる方針となる患者さんも多々おられるかと存じます。

当院では現在、放射線性顎骨壊死の保存的な治療として新規薬物療法を検討中ですが、その開発に先立ち、各施設で放射線性顎骨壊死に対し実際にどのような対応がなされているのかの調査を行ない、その現状を集約・解析することで、新規治療開発の有用性や課題が明確になると考え、このたびWEBアンケートによる実態調査を計画させていただきました。

本調査は国立がん研究センター中央病院倫理審査委員会での承認作業を終え、関連学会のお力添えのもと実際に放射線性顎骨壊死の治療や管理を行なっておられる医療者のアンケートへのご参加をお願いしております。アンケートはWEB上で回答いただく形で、所要時間は10~15分程度と、なるべく皆様方の回答のご負担が減るよう留意したものとなっております。

アンケート URL は以下の通りです

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScEutK8bbgtKPJ3-K3sz7fshM6uUapFV-T9q0Dlvu67S7QOWg/viewform?vc=0&c=0&w=1&flr=0&usp=mail_form_link



頭頸部がんサバイバーの生活の質の向上に資する取り組みに繋がると考えております。お忙しい中とは存じますが、ぜひ本WEBアンケートにご回答を賜りたく、何卒宜しくお願い申し上げます。

また、もしお近くに実際に放射線性顎骨壊死の治療や管理を行なっておられる方がいらっしゃいましたら、ぜひアンケートのご協力をお伝え頂きたく、合わせてお願い申し上げます。

お力添えのほど、何卒宜しくお願い申し上げます。

敬具